

3 機械的安全性

1

運搬時の注意点

前方視界の確保

モニタが折りたためる構造の場合:必ずモニタアームロック(後述)を掛け前方が見通せる状態で移動してください。

CRTタイプなど前方の視界が悪い場合:モニタの左右から適宜前方を確認しつつ運搬してください。

移動経路の傾斜(転倒防止)、移動中の振動、衝撃(精密機器の保護)などには十分にご注意ください。



ケーブル処理

プローブケーブルや電源ケーブル等をキャストに巻き込まないようにご注意ください。

取扱説明書に記載されている「安全の章」をよくお読みの上、ご使用ください。

2

モニタの注意点

モニタの固定

超音波診断装置を移動させる場合は、可動部が回転する可能性がある為、必ずモニタアームロックを掛けてください。

※移動の際には、システム電源、サーキットブレーカもオフにして電源ケーブル(その他)を壁のコンセントから抜いてください。

モニタアームロックの例



※モニタアーム部には手などはさみやすい箇所がありますのでご注意ください。

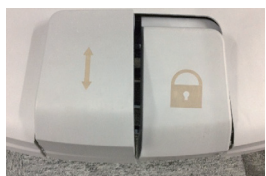


取扱説明書に記載されている「安全の章」をよくお読みの上、ご使用ください。

3

キャスタロックの注意点

固定時にはキャスタロックを確実に掛けてください。検査中に動き出す恐れがあります。



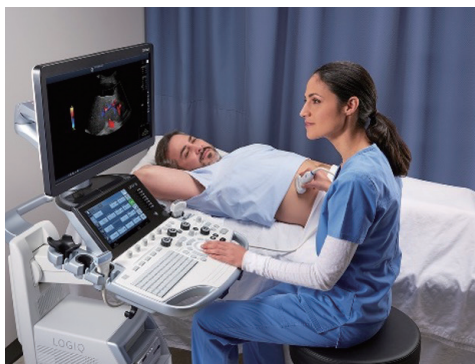
Point

長時間同じ操作をする場合、モニタ位置や椅子の高さを調整し、無理の無い姿勢で検査を行ってください。

4

設置場所

排気経路の確保が重要です。壁からは適度な距離をとって設置してください。



※カーテンで仕切ってある検査室ではカーテンが排気経路を妨げないようにすることも重要です。

取扱説明書に記載されている「安全の章」をよくお読みの上、ご使用ください。